十中だより

4月号

令和5年　4月13日
文京区立第十中学校
校長　　南　　英昭

令和5年度がスタートしました

≪始業式≫

４月６日（木）が２，３年生にとって令和５年度の最初の登校日でした。新しい学級の発表があり、新３年生は、昨年度より１学級増え、３学級での新たなスタートとなりました。その後、体育館で着任式、始業式を行いました。式の前の整列も素早く整然と行動することができ、予定時間より早く式を開始しました。上級生としての自覚や誇りが感じられる新年度の始まりとなりました。

始業式では、改めて本校の校訓「自主協調」の話をしました。校歌の歌詞から抜粋され、校歌制定の５年後の昭和２９年から受け継がれている歴史や校訓の意味について解説しました。その意味の中で「心身ともに健全にして明朗闊達、個人の育成を目指す」という部分があり、本校の「明るく朗らかで、心が広くおおらかで温かい雰囲気」はこの「明朗闊達」から由来していて、７０年近く受け継がれていることをみんなで再確認しました。十中の伝統として今後も大切にしていきましょう。

≪ご入学おめでとうございます≫

４月７日（金）に、第７６回入学式を挙行いたしました。

新入生の保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

本年度は、４年ぶりに、全校生徒、来賓の方々に見守られる中で、新たに７３名の新１年生を迎えることができました。

上級生も皆さんの入学を心待ちにしており、早く学校になれるようサポートしてくれます。頼りにしてください。

中学校の３年間は、心身ともに変化の大きい時期です。積極的にいろいろなことに挑戦することにより、大きな成長が期待できます。ぜひ、前向きに行動し、自らの力を伸長させてください。

≪新入生歓迎会≫

新入生のために上級生が中学校生活を早く理解してもらえるよう歓迎会を開催しました。

創意工夫された紹介が多くみられました。上級生のみなさんありがとう。